

## 令和元年度 長野県工業技術動向調査票

平素より長野県産業労働行政に対し、格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、長野県内の工業技術に関する最近の動向を把握し、今後の中小ものづくり企業の技術支援施策に反映するため、隔年で標記調査を実施しています。大変ご多忙中とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

- 1 本調査の情報は、上記目的外には使用されることはありません。また、調査結果については、個々の企業の内容が公表されることはありません。
- 2 経営者又は経営全体が分かるご担当者の方に、ご回答いただきますようお願いいたします。
- 3 各設問では、あてはまる番号に○をつけ、また、( )内や枠内に該当する事項を具体的に記入してください。設問の内容が分からない場合については、そのままにしておいてください。聞き取り調査の際、ご説明します。
- 4 センターの職員が貴社と日程調整を行った上で、訪問により聞き取り調査を実施します。

企業名			
代表者名			
記入者職・氏名			
所在地市町村名		TEL	
従業員数	人（常勤）		
年間売上高	百万円	資本金	万円
主要事業 （主な出荷品等）			

（センター職員記入欄）

調査職員： \_\_\_\_\_

調査年月日： \_\_\_\_\_

問Ⅰ 事業形態の認識について

1 5年前の貴社の事業形態は、次のどれだと認識していますか。(最もあてはまる1つに○)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 製造受託型企業 | 2. 技術提案型企業 | 3. 研究開発型企業 |
|------------|------------|------------|

2 現在の貴社の事業形態は、次のどれだと認識していますか。(最もあてはまる1つに○)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 製造受託型企業 | 2. 技術提案型企業 | 3. 研究開発型企業 |
|------------|------------|------------|

3 5年後の貴社の事業形態は、次のどれだと認識していますか。(最もあてはまる1つに○)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 製造受託型企業 | 2. 技術提案型企業 | 3. 研究開発型企業 |
|------------|------------|------------|

<企業の事業形態の説明>

事業形態	定義
製造受託型企業	発注企業の仕様や設計図により、製造・加工する製品のある企業
技術提案型企業	工法や材質選択等を取引先に提案し、製造・加工する製品のある企業 食料・飲料については、「貴社の持つ製品技術を活かし、他の食材等に応用して新たな製品を製造すること」
研究開発型企業	貴社が行った研究開発により、製造・加工（OEMを含む）する製品のある企業 食料・飲料については、「貴社が持たない製造技術を新たに研究開発し、製品の付加価値を高める（既存製品に新たな機能を加えることを含む）こと」

問Ⅱ 技術分野等の展開について

1 貴社の主な出荷品の種類は、次のどれに該当しますか。(最も近い1つに○)

1. 自社製品	3. 部品	5. その他( )
2. OEM	4. 試作品	

2 貴社の生産形態は、次のどれに該当しますか。(該当すべてに○、( )内に回答)

1. 開発受託	<顧客課題解決のための研究開発、試作>
2. 単品生産	<仕様書によるソフト開発、専用機等、OEM含む>
3. 多品種少量	<開発を伴わない単品・少量受注、リピート品>
4. 量産	<生産ラインによる自動車部品等の量産>
5. 自社ブランド	<自社ブランド品の生産>
6. その他	(内容 )

(食品事業者以外が回答)

3 貴社の保有する技術分野は、次のどの分類に該当しますか。(該当すべてに○)

1. 設計(機械系)	12. 鍛造	23. デバイス実装
2. 設計(電気系)	13. 鋳造	24. センシング
3. デザイン	14. 焼結・粉末冶金	25. 電装
4. 組立	15. 溶接・ろう付け・圧接	26. 半導体部品・MEMS技術
5. 切削加工	16. 機能部品接着	27. 高機能化学合成
6. レーザー・放電加工	17. 熱処理	28. 真空
7. 研削・研磨加工	18. めっき	29. 繊維加工
8. 金属プレス	19. 塗装・噴射・塗布	30. 検査
9. プレス金型	20. 溶射・蒸着	31. その他( )
10. プラスチック成形加工	21. 組み込み	
11. プラスチック用金型	22. 電子部品・製品技術	

4 貴社の最も強みのある技術を挙げ、そのレベルは、次のどれに該当しますか。(1つに○)

最も強みのある技術( )		
1. 国際的に優位性あり	2. 国内では優位性あり	3. 国内の同業者と同水準

5 貴社の売上に寄与している出荷品は、次のどの産業（流通先）に関するものですか。  
（該当すべてに○し、最も売上のある産業（流通先）に◎）

1. 産業機械	14. ファッション	<<食品事業者はこちら>> 27. 個人 28. 直営店 29. 飲食業 30. 自社以外の店舗・スーパー 31. 卸売り 32. 医療系 33. 美容系 34. 業務用（29.～33.以外） 35. OEM 36. その他（ ）
2. 自動車	15. スポーツ	
3. 鉄道	16. 美容	
4. 航空機	17. 生活雑貨・消費財	
5. 宇宙	18. 食品	
6. 健康・医療	19. 建設・建材・不動産	
7. 環境・エネルギー	20. レジャー・エンタメ	
8. 情報・通信	21. パチンコ・パチスロ	
9. 家電・電気器具	22. 住宅・住宅設備機器	
10. 社会インフラ	23. 教育・人材	
11. 防災・減災	24. 流通小売	
12. 農林水産業	25. 金融	
13. マテリアル	26. その他（ ）	

（食品事業者以外が回答）

6 貴社が近年新たに関わり始めた産業分野は、次のどれに該当しますか。（該当すべてに○）

1. 産業機械	6. 健康・医療	11. 防災・減災
2. 自動車	7. 環境・エネルギー	12. 農林水産業
3. 鉄道	8. 情報・通信	13. その他（ ）
4. 航空機	9. 家電・電気器具	
5. 宇宙	10. 社会インフラ	

（食品事業者以外が回答）

7 貴社が5年後に新たに関わりを強めたい産業分野は、次のどれに該当しますか。（該当すべてに○）

1. 産業機械	6. 健康・医療	11. 防災・減災
2. 自動車	7. 環境・エネルギー	12. 農林水産業
3. 鉄道	8. 情報・通信	13. その他（ ）
4. 航空機	9. 家電・電気器具	
5. 宇宙	10. 社会インフラ	

8 貴社の最近5年間の知的財産権の取得数は、次のどれに該当しますか。（該当1つに○）

1. 0件	4. 11～15件	7. 26～30件
2. 1～5件	5. 16～20件	8. 31～50件
3. 6～10件	6. 21～25件	9. 50件以上

9 貴社のIoTへの取組について教えてください。（該当すべてに○、対象に○）

1. 既に導入している	{対象：新製品開発	生産工程への導入	その他（ ）}
2. 今後導入したい	{対象：新製品開発	生産工程への導入	その他（ ）}
3. 今後自社開発したい	{対象：新製品開発	生産工程への導入	その他（ ）}
4. 今のところ考えていない（理由：	）		
5. その他（内容、課題等：	）		

10 貴社のAIへの取組について教えてください。(該当すべてに○、対象に○)

1. 既に導入している	{対象：新製品開発	生産工程への導入	その他( )}
2. 今後導入したい	{対象：新製品開発	生産工程への導入	その他( )}
3. 今後自社開発したい	{対象：新製品開発	生産工程への導入	その他( )}
4. 今のところ考えていない(理由：			)
5. その他(内容、課題等：			)

11 貴社におけるロボット活用の取組について教えてください。  
(該当すべてに○、( )内に回答)

1. 既に活用している	(対象：	)
2. 今後積極的に活用する	(対象：	)
3. 今のところ考えていない(理由：		)
4. その他(内容、課題等：		)

12 貴社のロボット製品・部品等の製造への取組について教えてください。  
(該当すべてに○、( )内に回答)

1. 既に製造している	(対象：	)
2. 今後積極的に取り組む	(対象：	)
3. 今後自社開発したい(内容：		)
4. 今のところ考えていない(理由：		)
5. その他(内容、課題等：		)

13 貴社のCO<sub>2</sub>削減に繋がる生産の低エネルギー化やゼロエミッション等への取組について教えてください。(該当すべてに○、( )内に回答)

1. 既に取り組んでいる	(対象：	)
2. 今後積極的に取り組む	(対象：	)
3. 経費削減見込なら取り組む	(内容：	)
4. 今のところ考えていない(理由：		)
5. その他(内容、課題等：		)

14 貴社の経営上の課題について教えてください。(該当すべてに○)

1. 人材育成	7. 取引先の新規開拓	13. 販売価格の維持
2. 従業員の確保	8. 設備の更新・新設	14. 人件費の抑制
3. 技術力の維持・向上	9. 事業承継	15. 価格転嫁
4. 製品開発力	10. 競争激化への対応	16. 原材料の不足・価格上昇
5. 技術承継	11. ニーズ変化への対応	17. 為替相場の変動
6. 納期短縮	12. コストダウン	18. その他( )

問Ⅲ 研究開発について

1 貴社の研究開発人員について教えてください。(人員を記入し、5年前比に○)

研究開発人員	人	{ 5年前比：増 同 減 }
--------	---	----------------

2 貴社の研究開発経費※について教えてください。(最近期の年間経費記入し、5年前比に○)

※研究開発経費の主なもの：人件費、外注費、消耗品費、減価償却費等

研究開発経費	万円/年	{ 5年前比：増 同 減 }
--------	------	----------------

3 貴社の研究開発人員の現状と今後について、次のどれに該当しますか。(それぞれ1つに○)

【 現状 】	1. 不足	2. 適正	3. 過剰
【 今後 】	1. 強化・増員	2. 現状維持	3. 縮小・削減

4 貴社の研究開発人材で懸念されている問題について、次のどれに該当しますか。

(該当3つまでに○、最も懸念されている問題に◎)

1. 技術をマネジメントする人材の不足	5. 基礎・応用研究から実用化へとつなぐことができる人材の不足
2. 技術を俯瞰できる目利き人材の不足	6. 創造的人材の不足
3. 戦略を立案できる人材の不足	7. その他 ( )
4. 異分野との融合をリードできる人材の不足	8. 特にない

5 貴社の研究開発人材(後継)の育成について、次のどれに該当しますか。(該当すべてに○)

1. OJT(現場指導)	5. 業界内資格制度の取得	9. その他 ( )
2. 専門的な内部研修と指導	6. 学協会への参加	10. 特にない
3. マニュアル配布と説明	7. 研究会への参加	
4. 外部講師による講習・研修	8. 自発的研鑽に委ねている	

6 貴社の現在実施している研究開発案件の数は、次のどれに該当しますか。(1つに○)

1. 0件	4. 3件	7. 6～10件
2. 1件	5. 4件	8. 11～20件
3. 2件	6. 5件	9. 21件以上

7 貴社が新たな研究開発を開始するきっかけについて、あてはまる割合をご記入ください。

(( )内に割合を記入)

1. 取引先の要請 ( )%	3. 社員の自己研鑽 ( )%	5. 大学、研究機関等連携 ( )%
2. 自社の開発方針 ( )%	4. 他社からの勧誘 ( )%	6. その他 ( ) ( )%

※ 合計で100%となるように記入ください。

8 貴社の研究開発レベルについて、次のどれに該当しますか。(最も近い1つに○)

1. 満足	3. どちらともいえない	5. 不満
2. やや満足	4. やや不満	6. その他( )

9 貴社が最近5年間で取り組んだ研究開発について、期待に対する成果の達成度はどの程度ですか。(平均値として最も近い1つに○)

また、外部機関との連携に最も期待する効果を教えてください。( )内に回答)

【貴社のみで行った研究開発】 の達成度	1. 0～20%	3. 41～60%	5. 81～100%
	2. 21～40%	4. 61～80%	6. なし
【外部機関（他企業含む）との 連携で行った研究開発】 の達成度	1. 0～20%	3. 41～60%	5. 81～100%
	2. 21～40%	4. 61～80%	6. なし
連携で最も期待する効果( )			

問Ⅳ 産学官連携について

1 貴社が最近5年間で産学官連携を実施した実績の総数は、次のどれに該当しますか。  
(近い1つに○)

1. 0件	4. 3件	7. 6～10件
2. 1件	5. 4件	8. 11件以上
3. 2件	6. 5件	

2 次のフロー図のうち貴社が強化したい項目を教えてください。(該当3つまでに○)

((一般的なビジネス展開のフロー図))

9 該当しない

3 産学官連携で県や産業支援機関へ期待することは、次のどれに該当しますか。(該当3つまでに○)

1. 補助金等の競争的資金獲得支援
2. 市場ニーズの探索・抽出の支援
3. 最先端の技術シーズ利用への支援
4. 不足している技術に対するアドバイス
5. 研究機関や企業同士等の技術をつなぐコーディネート
6. 研究開発全体のプロデュース
7. 研究開発・製品化での技術的な支援
8. 知的財産権についての詳しいアドバイス
9. 海外企業等との技術開発に対する支援
10. その他 ( )



問Ⅴ 県内拠点の位置付けについて

1 貴社の県内生産拠点について、現在及び、5年後の位置付けは、次のどれに該当しますか。  
(該当1つに○)

【現在】	1. 設備増設、生産性向上等の量的拡大 2. 規模は維持して、競争力強化 3. 国内市場向け製品に特化	4. 試作・マザー工場化 5. 研究開発に特化 6. その他( )
【5年後】	1. 設備増設、生産性向上等の量的拡大 2. 規模は維持して、競争力強化 3. 国内市場向け製品に特化	4. 試作・マザー工場化 5. 研究開発に特化 6. 未定 7. その他( )

2 貴社の県内拠点における5年後の研究開発機能について、次のどれに該当しますか。  
(該当1つに○)

1. 強化	3. 現状維持	5. その他( )
2. 縮小	4. 未定	

問VI 食品産業振興について（食品事業者のみご回答ください）

長野県では、「長野県食品製造業振興ビジョン」を策定し、「発酵・長寿県」宣言を行うなど、県内食品製造業の取組を支援しております。

今後の施策立案の参考とするため、以下の設問にもご協力をお願いします。

<長野県食品製造業振興ビジョン>

[https://www.pref.nagano.lg.jp/mono/sangyo/shokogyo/gijutsu/nagano\\_food.html](https://www.pref.nagano.lg.jp/mono/sangyo/shokogyo/gijutsu/nagano_food.html)

<「発酵・長寿県」宣言>

<https://www.pref.nagano.lg.jp/mono/hakkotyozyu.html>

1 貴社が食品開発等のために、現在取り組んでいること及び、5年後に取り組みたいことは、次のどれに該当しますか。（該当すべてに○）

【現在】	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機能的な研究、機能的な食品の開発</li> <li>2. 高齢者、介護食の開発</li> <li>3. 高品質化食品の開発（色調、香味、テクスチャー等）</li> <li>4. 適塩化食品の開発</li> <li>5. カロリーオフ食品の開発</li> <li>6. 特徴的な技術や微生物等の活用</li> <li>7. 地域的な特徴の活用（地元原料、地域の食文化、気候や水など）</li> <li>8. 食品開発研究会への参加</li> <li>9. 食品加工装置の研究開発</li> <li>10. 定量的データを用いた味の見える化</li> <li>11. 工技センター、大学、その他関連機関との連携</li> <li>12. 他社、他業種との連携</li> <li>13. 自社製品と他社製品のコラボ、組合せ</li> <li>14. 一般消費者等によるモニタリング調査</li> <li>15. その他（ )</li> <li>16. 取り組んでいない</li> </ol>
【5年後】	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機能的な研究、機能的な食品の開発</li> <li>2. 高齢者、介護食の開発</li> <li>3. 高品質化食品の開発（色調、香味、テクスチャー等）</li> <li>4. 適塩化食品の開発</li> <li>5. カロリーオフ食品の開発</li> <li>6. 特徴的な技術や微生物等の活用</li> <li>7. 地域的な特徴の活用（地元原料、地域の食文化、気候や水など）</li> <li>8. 食品開発研究会への参加</li> <li>9. 食品加工装置の研究開発</li> <li>10. 定量的データを用いた味の見える化</li> <li>11. 工技センター、大学、その他関連機関との連携</li> <li>12. 他社、他業種との連携</li> <li>13. 自社製品と他社製品のコラボ、組合せ</li> <li>14. 一般消費者等によるモニタリング調査</li> <li>15. その他（ )</li> <li>16. 取り組む予定がない</li> </ol>

2 貴社が食品のグローバル展開で、現在取り組んでいること及び、5年後に取り組みたいことは、次のどれに該当しますか。(該当すべてに○)

【現在】	1. インバウンドへの展開（商品提供、商品開発） 2. 海外への展開（輸出、輸出向け商品開発） 3. 国際認証制度の取得（ハラール等） 4. 国内外展示商談会への出展 5. 海外バイヤーや海外企業との連携 6. その他（ <span style="float: right;">)</span> 7. 取り組んでいない
【5年後】	1. インバウンドへの展開（商品提供、商品開発） 2. 海外への展開（輸出、輸出向け商品開発） 3. 国際認証制度の取得（ハラール等） 4. 国内外展示商談会への出展 5. 海外バイヤーや海外企業との連携 6. その他（ <span style="float: right;">)</span> 7. 取り組む予定がない

3 貴社のブランド力向上で、現在取り組んでいること及び、5年後に取り組みたいことは、次のどれに該当しますか。(該当すべてに○)

【現在】	1. 機能性表示食品の開発・販売 2. 品評会等への出品 3. 原産地呼称管理制度による認定 4. モンドセレクション等の各種認証取得 5. 地理的表示の登録 6. FOOD EX JAPAN 等の展示会、イベントへの参加 7. 観光イベントとの連携 8. 信州産、県内産原料のイメージ戦略の活用 9. その他（ <span style="float: right;">)</span> 10. 取り組んでいない
【5年後】	1. 機能性表示食品の開発・販売 2. 品評会等への出品 3. 原産地呼称管理制度による認定 4. モンドセレクション等各種認証取得 5. 地理的表示の登録 6. FOOD EX JAPAN 等の展示会、イベントへの参加 7. 観光イベントとの連携 8. 信州産、県内産原料のイメージ戦略の活用 9. その他（ <span style="float: right;">)</span> 10. 取り組む予定がない

4 貴社の食と健康の検証について、現在取り組んでいること及び、5年後に取り組みたいことは、次のどれに該当しますか。(該当すべてに○)

【現在】	1. 食と健康のエビデンス研究への参加 2. 機能性表示食品に係る研究開発 3. 機能性エビデンスの取得 4. その他( ) 5. 取り組んでいない
【5年後】	1. 食と健康のエビデンス研究への参加 2. 機能性表示食品に係る研究開発 3. 機能性エビデンスの取得 4. その他( ) 5. 取り組む予定がない

5 貴社の食の安全・安心、表示への対応について、現在取り組んでいること及び、5年後に必要なと思うことは、次のどれに該当しますか。(該当すべてに○)

【現在】	1. 異物、微生物、アレルギー等の検査・評価（センター等への外部委託含む） 2. HACCPの導入 3. 新食品表示法（H27.4～）による表示への移行 4. その他( ) 5. 取り組んでいない
【5年後】	1. 異物、微生物、アレルギー等の検査・評価（センター等への外部委託含む） 2. HACCP対策 3. 食品表示対策 4. その他( ) 5. 必要性を感じない

6 貴社のしあわせ信州食品開発センター（工業技術総合センター食品技術部門）の活用について、現在取り組んでいること及び、5年後に取り組みたいことは、次のどれに該当しますか。(該当すべてに○)

【現在】	1. 技術相談 2. 依頼試験、分析・評価機器等の利用 3. 試作等での加工装置の利用 4. 研究委託 5. テイスティング棟の利用	6. 製品のPR、商談会 7. サポーターズクラブによる試食評価 8. その他( ) 9. 取り組んでいない
【5年後】	1. 技術相談 2. 依頼試験、分析・評価機器等の利用 3. 試作等での加工装置の利用 4. 研究委託 5. テイスティング棟の利用	6. イノベーションルームの利用 7. 製品のPR、商談会 8. サポーターズクラブによる試食評価 9. その他( ) 10. 取り組む予定がない

